

八本松住民自治協

平成29年度東広島市防災活動セミナー開催

地区の自主防災の取り組みを紹介 子どもから高齢者まで 町をあげての活動の姿



発表する土久岡会長（右から2番目）と景山広報部長（右端）

最初に行われた避難所運営訓練の臨場感あふれる状況を報告し締めくづった。また、防災活動は将来的な減災に繋がることともに現在の住民の皆さんとの絆を高め、町の活力を生むと力になることを動画の中で訴えた。

八本松住民自治協議会（土久岡住民自治報部長）は4年間にわたる自主防災推進の過程を報告。内容は自治協ニュースに掲載した記事から組織の結成、防災マップ作成、意識向上及び防災訓練について。全地域で子どもから高齢者までの多くの方で取り組まれている様子を動画で紹介。

最後に東広島市で最初に行われた避難所運営訓練の臨場感あふれる状況を報告し締めくづった。また、防災活動は将来的な減災に繋がることともに現在の住民の皆さんとの絆を高め、町の活力を生むと力になることを動画の中で訴えた。

八本松南4・5地区自主防災会（会長日高敬司）は1月21日、150名の参加者のもと総合防災訓練を実施した。この日、住民の皆さんは8時30分各地区の避難場所に集合し、班長さんによるDVRにまとめ、市社会福祉協議会を通じ必要な方の要望に対応している。

また、自主防災会の日高会長は「参加者数が増えたのは命の宝箱を全戸配布し、皆さんのが防災意識が向上したのです」とコメントした。



デスクッションする石井代表理事（右端）と1部発表者 左端は広大生

2部ではNPO法人さくらネット代表理事石井布紀子さんが第1部発表者とのディスカッションで、2部ではNPO法人さくらネット代表理事石井布紀子さんが第1部発表者とのディスカッションで、八本松南4・5地区自主防災会（会長日高敬司）は1月21日、150名の参加者のもと総合防災訓練を実施した。この日、住民の皆さんは8時30分各地区の避難場所に集合し、班長さんによるDVRにまとめ、市社会福祉協議会を通じ必要な方の要望に対応している。



自治協ニュース

第2908号
発行者
八本松住民
自治協議会
H30.2.20

参加者150名の大規模防災訓練 安否確認 地域センターへの避難 煙体験を

八本松南4・5地区



宗吉第1集会所に掲載された橋本一貫先生の作品「時」

地域トピックス

宗吉集会所に絵画寄贈

八本松西在住の画家 橋本一貫恵子先生

八本松南区自治会は1月21日、「ご近所ホット推進員連絡会」を開催し、35名の推進員の参加を得て地域の福祉を推進する「八本松みなみ地区福祉会」を設立した。

この組織は、昨年12月に設立された八本松住民自治協議会を区域とする「福祉対策委員会」と運動する地区社協単位の組織で、今後各地域

地域トピックス

「近所ホット推進員連絡会 現状と計画も検討

八本松南上地区社協（会長）は「まづじ近く所同士の挨拶から始めて何でも話せる関係づくりを進めましょう」と挨拶した。

このほど八本松西地区在住の画家、橋本一貫先生と奥様の橋本恵子先生から宗吉第一・第二集会所に絵画が寄贈された。集会所には以前から橋本一貫先生の絵画が寄贈され展示されていたがこれを新たな作品に交換され

たもの。特に橋本一貫先生は現在広島市立基町高校で美術部員の生徒らを指導し被爆者の証言をもとに「原爆の絵」を作られる活動が最近話題になっている。

また、第一集会所に寄贈された絵画「時」はギリシャ遺跡をテーマとした先生の代表作の一つ。

宗吉第1・第2集会所
管理責任者

ア活動を行う目的で「ご近所ホット推進員制度」が設立され77名の推進員が登録され見事に活動を行っていたことがこの組織の認定に繋がった。

八本松みなみ地区福祉会の会長に就任した藤原さん（現）

地域トピックス

八本松南上地区社協（会長）は「まづじ近く所同士の挨拶から始めて何でも話せる関係づくりを進めましょう」と挨拶した。

ご近所ホット推進員連絡会議



就任のあいさつをする藤原会長(中央)

12年間も続く 子ども見守り活動 地域の子どもは地域で守ろう

子ども安全の日のセレモニーで決意新たに



登校時見守り活動 右は歩行レーン

動の趣旨を再確認するもので、毎年この時期に行われている。この日、子どもたちの登校時見守り活動を済ませ小学校グラウンド集まった約50名の方は、12年前に発生した「木下ありちゃん」事件等で犠牲になった子ども達に黙とうをささげ、高橋部会長の「子ども達の笑顔を守り安全安心の町を目指す」決意表明の後、全員で「地域の

子どもは地域で守るう」とシナリオプレハブルし活動継続への思いを新たにした。

冬季 夜の見回り活動

寒のなか 今日も見回り ありがとうございます

第5回 第6回夜の見回り活動

防犯部会

防犯部会は12月2日（土）と2月3日（土）の両日夜7時ノンタ一に有志（12月15名）が集結し、6台の青バトで今年度5回目と6回目の小学校区内パトロールを行った。寒さの中、めか公園や広場には人影もなく、24時間

當業の商店にも単身の子どもたちは見受けられなかった。

近年、このパトロールで当小学校区内の子ども達を指導する場面は少なくなってきた。これも、地域の皆さんによる日頃の見回り活動の結果。今後も犯罪と非行化抑止のために大切な活動である。

パトロール隊員の皆さん(2月3日)
お詫び

誤 太田 正 大田
グランプリ表彰者名



パトロール隊員の皆さん(12月2日)

11月22日早朝、防犯部会（部会長高橋孝明）は「子供安全の日のセレモニー」を八本松小学校グラウンドで行った。このセレモニーは「子ども見守り活動」を継続させるため、見守り活動に携わっておられる方が集まり、活

動を済ませ小学校グラウンド集まった約50名の方は、12年前に発生した「木下ありちゃん」事件等で犠牲になった子ども達に黙とうをささげ、高橋部会長の「子ども達の笑顔を守り安全安心の町を目指す」決意表明の後、全員で「地域の



黙とうする見守り活動に携わる地域の方々